広報 KOUHOU MIBU

壬生 MIBU

No.511
12月号
2001

高齢者疑似体験

未来ちゃんで〇十年後？

主な内容

●町の財政状況（上半期）	2～3
●第15回健康ふくしまつり	4～5
●教育委員会だより	6～7
●自治功労者表彰	10

発行／壬生町役場　〒321-0292　栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　編集／総務部企画財政課広報広聴係　☎0282-81-1812　毎月23日発行
ホームページアドレス http://www.t-cnet.or.jp/~mibu/　FAX0282-82-8262

状況報告

（平成13年９月30日現在）

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくために、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年２回（広報壬生６月・12月号）財政状況を公表しています。

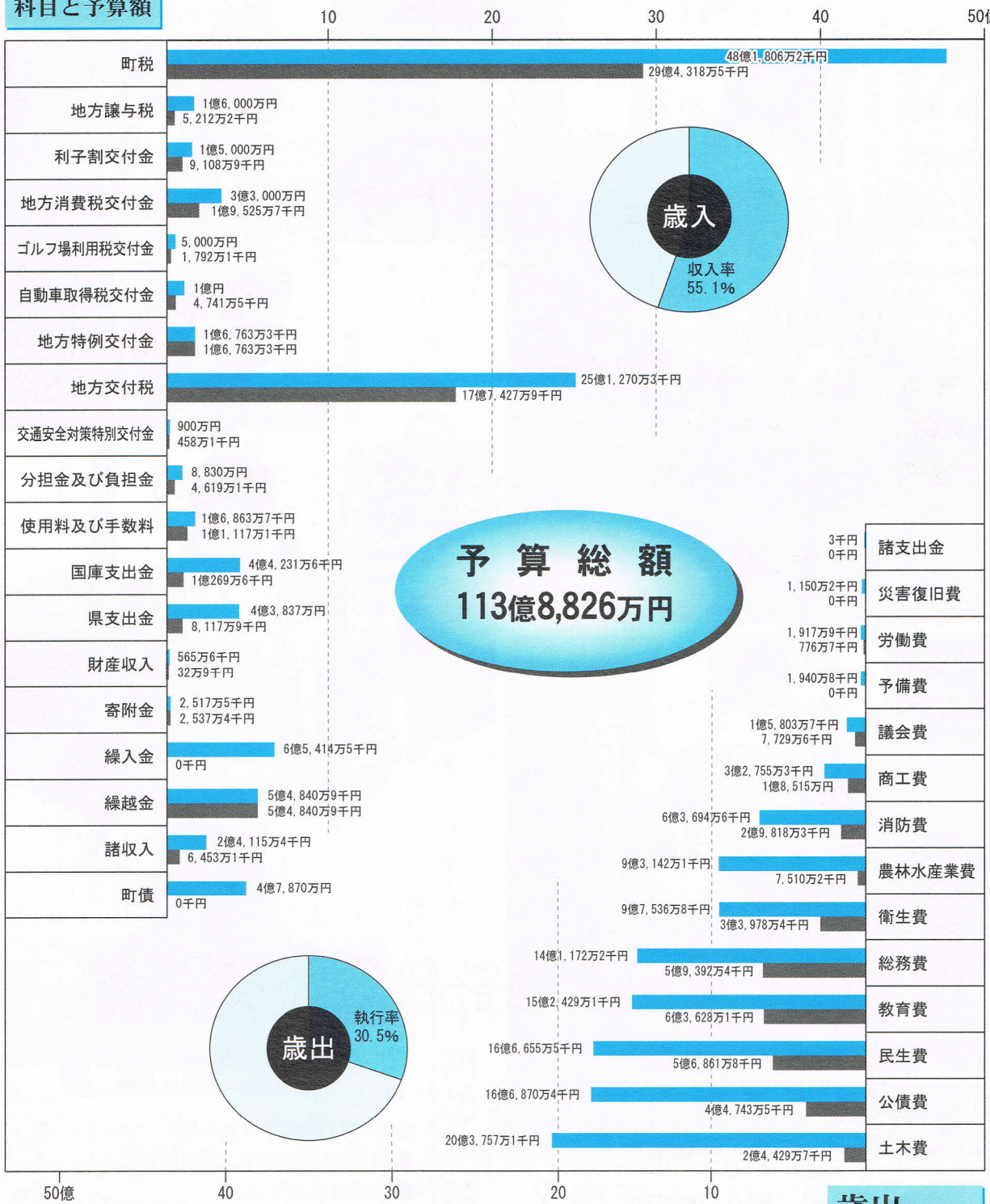
今回は、平成13年度上半期（平成13年４月１日から９月30日）の財政状況についてお知らせします。

一般会計執行状況

予算現額
上半期収入・支出額

歳入 科目と予算額

収入総額　62億7,336万2千円（収入率55.1％）



歳出 科目と予算額

支出済額　34億7,383万7千円（収入率30.5％）

平成13年度上半期

町の財政

特別会計執行状況

国民健康保険

		(執行率)
予算額	30億8,129万7千円	
収入済額	12億4,786万8千円	40.5%
支出済額	10億6,301万2千円	34.5%

公共下水道事業

		(執行率)
予算額	14億4,193万2千円	
収入済額	2億3,852万5千円	16.5%
支出済額	5億4,419万4千円	37.7%

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。なお、公共下水道事業には、都市計画税の一部が充当されています。)

奨学資金

		(執行率)
予算額	189万円	
収入済額	189万5千円	100.3%
支出済額	189万円	100.0%

老人保健事業

		(執行率)
予算額	31億1,120万8千円	
収入済額	13億112万9千円	41.8%
支出済額	12億5,282万6千円	40.3%

介護保険事業

		(執行率)
予算額	11億4,780万4千円	
収入済額	3億5,896万9千円	31.3%
支出済額	4億1,801万1千円	36.4%

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。)

農業集落排水事業

		(執行率)
予算額	13億7,933万円	
収入済額	1億91万1千円	7.3%
支出済額	4億4,353万8千円	32.2%

(収支の不足額は、一般会計から運用しました)

町税の内訳

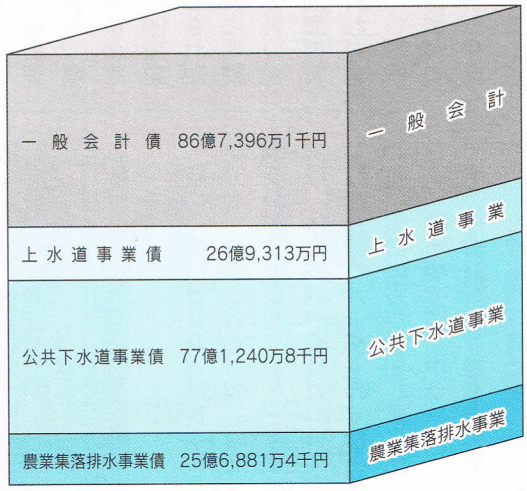
	予算現額	収入済額
町民税	19億3,333万5千円	8億5,471万7千円
固定資産税	22億5,297万2千円	17億1,057万7千円
軽自動車税	3,959万8千円	3,983万円
たばこ税	2億3,140万円	9,860万8千円
特別土地保有税	760万1千円	788万7千円
都市計画税	3億5,315万6千円	2億3,156万6千円

税の負担状況

	町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税	特別土地保有税
1人当り 74,011円	21,493円	43,015円	1,002円	2,480円	5,823円	198円
1世帯当り 225,601円	65,516円	131,119円	3,053円	7,558円	17,750円	605円

(平成13年4月1日　人口 39,767人　世帯数 13,046世帯)

地方債現在高



企業会計執行状況

水道事業

収益的収支

収入予算額	5億7,055万6千円	収入済額	1億9,670万円
支出予算額	5億6,200万6千円	支出済額	1億4,897万4千円

資本的収支

収入予算額	2億3,089万5千円	収入済額	0千円
支出予算額	4億　886万1千円	支出済額	8,866万9千円

健康ふくしまつり

たがつくる自分の健康！

健康と福祉を考える「第15回健康ふくしまつり」が11月3日、町保健福祉センターで行われました。会場には、朝早くから家族連れが訪れ「健康と福祉」に関する催しを楽しんでいました。

関心の高かった健康チェック！

功労者等の表彰

室内会場ではいろいろな展示コーナーが

この日、保健福祉センター内では、町の保健や福祉のため献身的に活動を続けている保健事業・福祉功労者表彰、3歳児及び母と子のよい歯のコンクールの表彰、家族全員が健康管理に努め5年または10年間一度も国保による医療を受けることなく健康に過ごされた方の表彰、社会福祉協議会法人設立25周年に際し、活動功労者の表彰、社会福祉向上のため高額の寄附をされた方の表彰等が行われました。

室内の催しとしては、健康チェックや健康・運動・歯科相談、介護用品・福祉機器展示、また何十年後の自分を体験できる高齢者疑似体験コーナーなどが行われました。

特に、骨伝導音測定に長蛇の列ができ、健康に対する関心の高さがうかがえました。また、体育館では、体力測定や晩秋を歩いて楽しむ「健康ウォーク」の受付が行われ、大勢の方が参加しました。さらに駐車場では、ボランティア団体の各種模擬店やフリーマーケットが軒をつらね、終始賑わっていました。

▲福祉施設の紹介コーナー

◀健康相談には行列が！

▶にぎわいをみせた屋外会場

第15回 あな

▲アイマスクを体験しよう

▲ロビーも人でいっぱい

▲福祉車両の展示

健康ふくしまつり受賞者（敬称略）

町長表彰

佐藤　カツ（配食サービスグループ）
伊藤紀代子　心身障害児者親の会
琴寄　ツヤ（ひまわり会）
長澤　弘子（施設職員・しもつけ荘）
只見　保子（施設職員・しもつけ荘）
水戸部和也（施設職員・しもつけ荘）
亀田トミ子（施設職員・しもつけ荘）
宮崎　隆次（施設職員・しもつけ荘）

保健事業功労者表彰

○予防接種部門
陣内秀明（嘱託医師）
赤羽根孝枝（看護婦）
○健診部門
田中美代子（嘱託歯科医師）
○廃棄物部門
緑町一丁目自治会

福祉功労者表彰

○福祉団体
青年サークル「クラブ」大橋祥子
○援護功労者
久保田　晃（町営下台団地）
寺内　ヨシ（配食サービスグループ）

3歳児よい歯のコンクールおよび母と子のよい歯のコンクール表彰

○3歳児よい歯のコンクールの部
◆最優秀
黒川亜香里（下表町）
◆優秀
清水稚菜（稲・下馬木）
◆優良
青柳政輝（おもちゃのまち）
白石彩也香（安塚二）
栗原　諒（城内）
○母と子のよい歯のコンクールの部
◆最優秀
畑中恵子・一樹（緑町一丁目）
◆優秀
島袋真由美・健太（落合）

国民健康保険健康増進奨励事業表彰

○10年褒賞
高山三四工（福和田）
齊藤　榮男（安塚中央）
葭葉　仁（壬・下馬木）
○5年褒賞
小谷野絢子（六美町中央）
本多　博（馬場）
田村栄子（鹿島）
金田喜一郎（下町）

社会福祉協議会会長表彰

増山敏夫（あけぼの）
海老原トシ子（安塚三）
神永ヨシ子（緑町二丁目）
山内裕司（緑町二丁目）
田中茂夫（国谷本田）
高山一美（助谷原）
仲田　昭（安塚中央）
大島久美子（栄町）

壬生町社会福祉協議会法人設立25周年記念表彰

◆10年以上役員、評議員である者
須賀俊之（緑町一丁目）
市井弘子（緑町三丁目）
◆活動功労者
藤田藤三郎（下表町）
早乙女俊子（上表町）

高額寄附者表彰（15万円以上の寄附）

戸崎豊治（旭町）
野口百合子（あけぼの）
河野辺泰子（安塚南部）
橋本福一（馬場）
大栗トミ（国谷中央）
山崎文吉（福和田）
高間信義（緑町三丁目）
㈱県南環境
栃木県歌謡協会下都賀支部
ボランティアグループ虹の会
星の宮カントリー倶楽部
同　取引先一同
壬生町老人クラブ連合会
壬生町公民館まつり実行委員会
メーデー下都賀東地区実行委員会

完全学校週五日制がスタート！

～子どもの目線に立った、学校・家庭・地域を通しての「生きる力」を育む具体的な方法として～

平成14年度から毎週土曜日を休みとする完全学校週五日制が、町内すべての小・中学校において、一斉に実施されます。

学校週五日制は…

学校、家庭、地域社会での教育や生活全体で、子どもたちに「生きる力」をはぐくみ、健やかな成長を促すものです。

土曜日や日曜日を利用して、家庭や地域社会で子どもたちが生活体験や自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動など様々な活動や体験をすることが望まれます。

なぜ、完全学校週五日制…

各種調査から、子どもたちの生活では、「ゆとり」のなさ、生活体験や自然体験の不足、家庭では、教育力の低下傾向、地域社会では、連帯感の希薄化が指摘されています。

このような現状を改善するためには、子どもたちの生活時間の家庭や地域社会での比重を大きくし、子どもたちが主体的に使える時間を増やすことで「ゆとり」の中で「生きる力」を身につけることが必要になるからです。

「生きる力」とは…

○自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力

○自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力

<参考資料>子どもたちの生活の実態

①小・中学生の通塾率の推移

区　分	昭和51年	昭和60年	平成５年
小学生平均	12.0%	16.5%	23.6%
中学生平均	38.0%	44.5%	59.5%

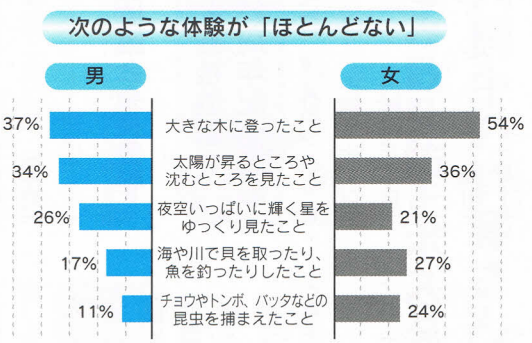
資料：「児童・生徒の学校外学習活動に関する実態調査」昭和51/60年
「学習塾等に関する実態調査」平成５年　文部省

②子どもたちのストレス（「ある」と答えた者の割合）

区　分	小学生	中学生
眠れない	33.7%	34.8%
疲れる	27.9%	45.7%
朝食欲がない	26.1%	41.4%
イライラする		26.4%

資料：「小学生の生活と文化」平成６年
「中学生、高校生の生活と意識」平成４年　ＮＨＫ世論調査

③自然体験のない小・中学生の割合
（「ほとんどない」と答えた者の割合）

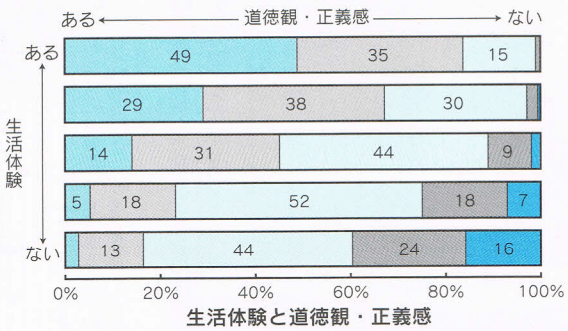


日の出・日の入を見る、木登りといった自然体験をしたことがないという子どもがたくさんいます。

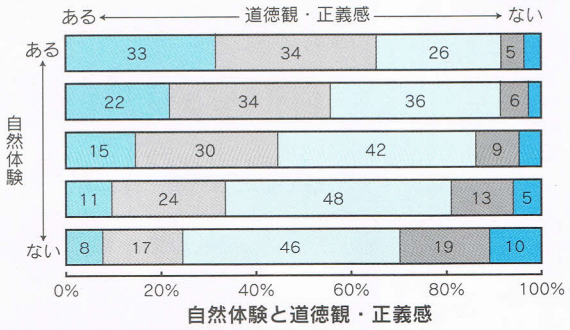
資料：「子どもの体験活動等に関するアンケート調査」
平成10年　文部省

豊かな体験は子どもたちにとって大切です…

生活体験や自然体験の豊富な子どもほど、「友達が悪いことをしていたら、やめさせる」「バスや電車で席をゆずる」などといった道徳観や正義感が身についているという調査結果が出ています。



生活体験と道徳観・正義感



自然体験と道徳観・正義感

資料：「子どもの体験活動等に関するアンケート調査」　文部省　平成10年12月

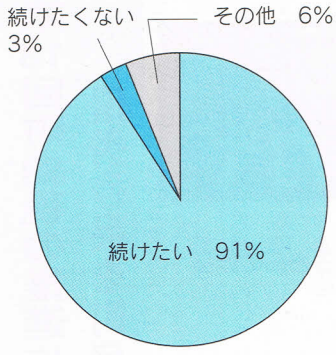
現在、町教育委員会では「完全学校週５日制」に向け、きのこ栽培とクワガタの育て方・ハイキング・宿泊研修・リース・フラワーアレンジメント講座・土器づくりなど、親子ふれあい事業や子どもたちの自然体験活動に取り組んでおりますが、今後、家庭や地域社会での自然体験、社会文化活動、スポーツ活動を支援する事業をさらに展開してまいります。

３　学　期　の　主　な　行　事

1／8（火）第３学期始業式
1／13（日）第53回成人式
2／1（金）南犬飼中立志式
2／2（土）「栃木の子どもをみんなで育てよう運動」地域フォーラム
2／6（水）壬生中立志式（宿泊学習）
2／9（土）男と女とのつどい
2／14（木）中学校入学説明会
3／1（金）壬生町児童生徒表彰
3／7（木）栃木県立高校入試（学力試験）
3／8（金）栃木県立高校入試（面接試験）
3／9（土）中学校卒業式
3／19（火）小学校卒業式
3／22（金）平成13年度修了式

多彩なＩＴ講座をめざして

今後自主講座として続けたいですか？



続　け　た　い	665人
続けたくない	23人
そ　の　他	43人

ＩＴ　講　座　風　景

生涯学習館では、今年度87のＩＴ講座を開設し、現在の受講予定者数を含め1699名の方が受講することになります。

参加者の方々から、アンケートによりご意見，ご感想を頂きました。その中で、グラフにもありますように多くの方々が、更にＩＴ講座を受講したいと希望しています。また、講座の内容においても、ワープロソフト、エクセル、画像処理などの学習をしたいという希望があることも分かりました。

生涯学習館では、住民の皆様の願いを実現するために、来年度の重点事業として考えて参ります。

共に考えよう！人権の集いに200人

人生コーディネーター　青木早枝子氏による講演

人権に関する問題は、いじめや障害者問題、プライバシーの侵害や同和問題などさまざまです。これらを他人事にせず、明るい町をつくろうと、「人権の集い」が11月28日、町中央公民館中ホールで行われ、約200人が参加しました。

集いでは、主催者挨拶のあと、町内小・中学生を対象に実施した人権啓発ポスター・作文の入賞者の表彰が行われました。続く発表会では、作文の部最優秀賞の壬生小3年山上大さん、壬生東小4年山田和希さん、南犬飼中学校3年榎本粧子さんら3名が入賞作品の朗読発表をしました。

次に人生コーディネーター　青木早枝子氏による、『21世紀を生きる「男（ひと）」と「女（ひと）」』と題して講演がありました。講演では託児活動や相談活動の中から、「地域の青少年とどう関わったらよいか」また、「人を人として尊重しているか」など、乳幼児や暴走族の少年の体験談を通して語っていただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

人権啓発ポスター入賞者（敬称略）

★小学生の部
最優秀　鯉沼香織（壬生小6年）

★中学生の部
最優秀　賀川明洋（壬生中2年）

人権啓発作文入賞者

★小学校低学年の部
最優秀　山上　大（壬生小3年）
題名「だれもが大切なんだよ」

★小学校高学年の部
最優秀　山田和希（壬生東小4年）

第13回町納税の推進に関するポスター標語 優秀作品を町民ホールに展示

小学生の部　最優秀賞
羽生田小　6年　山口 祥子さんの作品

町では、町内の小・中学生から納税のポスター標語を募集し、応募総数726点の中から最優秀賞2点、優秀賞10点、佳作24点が選定され、「税を知る週間」（11月11日～17日の1週間）に合わせて役場住民課前の町民ホールに優秀作品12点を展示しました。

これは、次代を担う町内小学6年生及び中学2年生を対象に、納税の標語作成を通して納税に対する理解を深め、また夏休み期間を利用することで家族みんなで納税について考える機会にしていただこうと、毎年実施しているものです。

中学生の部　最優秀賞
南犬飼中　2年　高橋 理依さんの作品

最優秀賞
山口　祥子（羽生田小6年）
高橋　理依（南犬飼中2年）

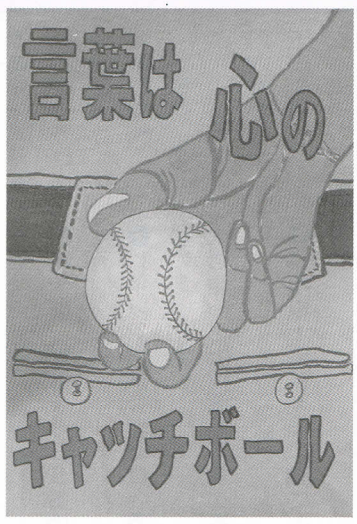
優秀賞
福田華緒里（壬生小6年）
古川　彩（壬生東小6年）
渡辺みゆき（睦　小6年）
小野口　涼（稲葉小6年）
大川　啓介（安塚小6年）
林　陽子（壬生中2年）
宇野　貴博（　〃　）
岡部　真理（　〃　）
晴山　友貴（南犬飼中2年）
岸　亜由夢（　〃　）

題名「ぼくもおじいちゃんもみんな同じ」

★中学生の部
最優秀　榎本粧子（南犬飼中3年）

壬生小　6年
鯉沼　香織さんの作品

題名「自分の身になってから分かったこと」



壬生中　2年
賀川（かがわ）　明洋（あきひろ）さんの作品

また、栃木税務署で募集しました「税に関する中学生の標語」の優秀作品6点も併せて展示されました。

関東信越国税局長賞
須藤明日香（壬生中3年）
標語「明るい未来　あなたのその手と税金で」

栃木税務署長賞
高橋　愛（めぐみ）（壬生中3年）
標語「税金が　つくりあげてる　豊かな社会」

高橋　理依（りえ）（南犬飼中2年）
標語「よく知ろう　身近な税の　大切さ」

租税教育推進協議会長賞
石崎祐紀臣（ゆきおみ）（南犬飼中3年）
標語「税金は　あなたの夢のサポーター」

栃木県税事務所長賞
大木　美穂（南犬飼中1年）
標語「輝いた　未来を作ろう税金で」

壬生町長賞
梁島　諭（さとし）（壬生中3年）
標語「税金を　きちんと納めて　住みよい社会」

大島　理絵（南犬飼中3年）
標語「税金で　結ぶ人々支える　社会」

教育功労者等に表彰状
町教育文化祭

功労者に感謝状が手渡される

町の教育振興発展のため、特に功労のあった方等を表彰する壬生町教育文化祭が、11月21日町中央公民館中ホールで開かれました。

式典は、教職員をはじめPTA関係者約200名が参加して行われ、松本教育委員長のあいさつに続いて、教育振興に功労のあった方に表彰状が、本町を最後に退職された方々に感謝状が贈られました。

また、式典終了後、中尊寺貫首千田孝信師から「心の教育」と題する講演が行われました。

受賞者（敬称略）

◎教育振興に功労顕著であった個人

高橋悦子　壬生町いずみ町6－2（壬生町立生涯学習館運営審議会委員）

◎本町を最後に退職された教職員

大出常三郎　石橋町大字上古山1，502－1（壬生町立壬生小学校）

栗原　香明（こうめい）　壬生町落合1－4－15（壬生町立壬生東小学校）

藤田　幸男　宇都宮市双葉2－1－9（壬生町立睦小学校）

竹田　安男　栃木市箱森町51－40（壬生町立壬生中学校）

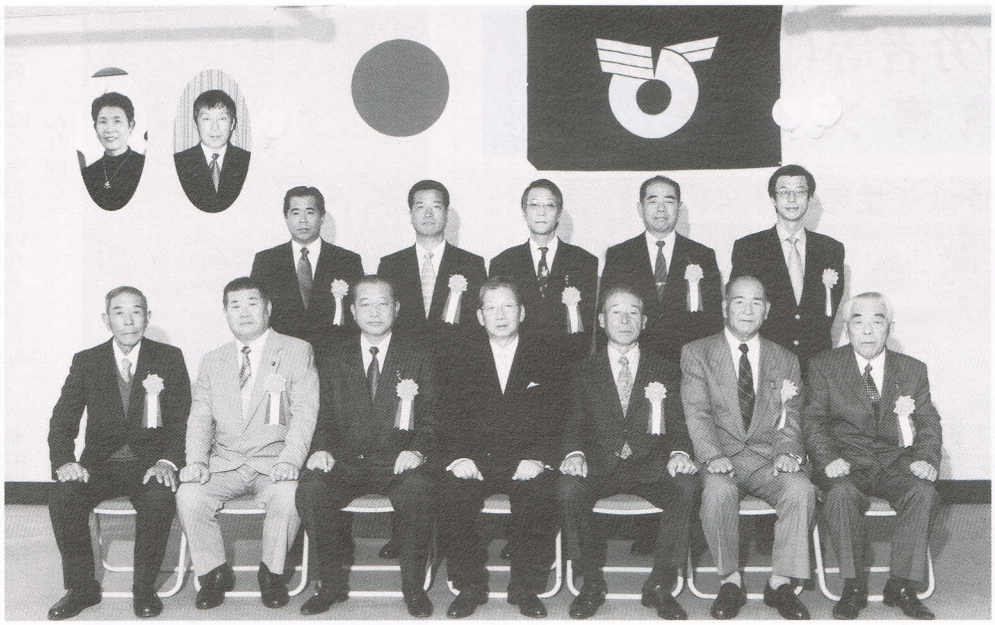
『学校新聞等に活用して下さい』キャラクターデジカメを寄贈

「エルモ」のデジカメを寄贈

おもちゃのまちのバンダイ出身の有志が設立した企画会社（株）ブレイブ（代表取締役社長　六浦俊幸）様から、このほどセサミストリートの「エルモ」や、あひるの「ガーコ」等のキャラクターデジタルカメラ、合計48台が寄贈されました。

このデジタルカメラは、町内の各小・中学校に4台ずつ配られ、撮影した画像をパソコンに取り込んで、学校新聞等を作るときや、Eメール等に添付するなどで活用してもらいたいとのことです。

町発展への功績たたえる
自治功労者表彰



受賞者の方々（敬称略）
前列右から
橋本福一
黒子昭平
坂田佐一郎
清水町長
鈴木史郎
足助正信
石塚勘一
後列右から
おもちゃ団地協同組合事務局長
栃木卓夫（たかお）
大塲伸一
柳沢健一
中島義家
協栄物流㈱
梅野　泉
円内右から
玉田　隆
松本景子

永年に渡り、町政の発展、福祉の増進、体育振興等、各方面において大きく貢献された方々に対し、その功績をたたえる自治功労者の表彰式が11月2日、役場正庁で行われました。
今年は、特別功労賞1名、功労賞10名、徳行賞2名の方々が表彰され、清水町長から表彰状と記章及び記念品が贈られました。

●特別功労賞（敬称略）

坂田佐一郎　上稲葉1464番地1

●功労賞

◎8年以上町議会議員の職にあった者
鈴木史郎（ふみお）　安塚1935番地

◎12年以上選挙管理委員会委員の職にあった者
大塲伸一　上稲葉1761番地3

◎15年以上福祉委員の職にあった者
黒子昭平　福和田1587番地54
橋本福一　藤井2232番地3
松本景子　幸町二丁目29番1号

◎20年以上条例または規則で設置した交通指導員にあって功績があったと認められる者
足助正信（あすけ）　福和田1262番地2

◎20年以上条例または規則で設置した体育指導委員にあって功績があったと認められる者
玉田　隆　中央町11番6号
中島義家　助谷810番地5
柳沢健一　至宝二丁目8番7号

◎通算により消防団員・福祉委員の職にあった者
石塚勘一　壬生甲2589番地1

●徳行賞

◎町に1件100万円以上の金品を寄付した者。ただし受益者の当該受益に関する寄付を除く
おもちゃ団地協同組合
理事長　富山允就（まさなり）
おもちゃのまち一丁目3番10号
協栄物流株式会社
代表取締役　梅野　泉
壬生乙4036番地

受賞者代表による謝辞

とっておきの名人 31

この出で立ちで蕎麦を打ちます

蕎麦がもたらす地域の輪

安塚中央　瓦井 研三さん

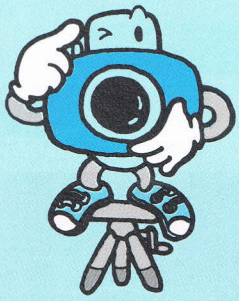
6年前に教員を退職した瓦井さんは、ずっと前からやってみたいと思っていた「蕎麦打ち」を独学で始めました。あちこち食べ歩き、飛び入りで講習会に参加したり、親戚などに配ったりして経験を積み、今ではいろんな集まりで蕎麦を打ってみせ、皆さんに喜ばれています。

また、瓦井さんの腕前を人づてに聞いた方に声をかけられ、南犬飼中のPTAや安塚地区コミュニティーで、蕎麦打ち教室を開いています。コミュニティーでの参加者の4割が男性で、蕎麦を自分で打ってみたいと思う人がほとんどだそうです。

さらに、昨年の緑化フェアでは、ログハウスの「みよしろ」で蕎麦を打ち、とても好評だったようです。今年もすでに3月から毎週土・日と祝祭日にはログハウスに出かけていき、3人の蕎麦打ち仲間と切磋琢磨して腕前を上げています。

蕎麦粉は4年前から自宅で種をまいて作っており、挽きたての粉で、つなぎなしで作る蕎麦は格別だそうです。蕎麦粉は同じ分量でもその日の気温や湿気に影響し、加える水の量を加減しなくてはならないそうです。

「蕎麦打ちを始めて、いろいろな集まりにも出かける機会が増え、地域の人とのつながりがもて、毎日がとても楽しい」と話して下さいました。



みんなの広場

皆さんのご応募をお待ちしています!

旬の歳時記

冬至

暦の冬は立冬から翌年の立春前日までをいいますが、そのちょうど真ん中にあたる日（12月21日ごろ）を冬至といいます。北半球では正午に太陽の高度が一年中で一番低く、昼の長さが最も短くなるときです。

気象的には冬はこのころからが本番です。北日本や山間内陸部は別ですが、関東以南で霜が降りたり氷が張ったりする気温になるのは、冬至が過ぎたあたりから。ことわざに言う「冬至冬なか冬はじめ」は、暦の上の冬と気象上の冬の関係をずばり表現していると言えるでしょう。

太陽が最南に位置する冬至は、古代中国の天体思想では太陽運行の出発点とされていました。冬至を太陽の誕生日とする考え方は西洋にもあり、イエスの誕生を祝うクリスマスも冬至に合わせて定められたと言われています。クリスマスの日付が25日なのは、天文学の知識不足のために日がずれたというのが定説です。

古代からの冬至の風習は、さまざまな形で今日に伝えられています。

小豆がゆ、カボチャ、コンニャクなど特定の食物を食べるのもその一つ。これはこの時期には珍しくなる野菜類を冬の祭りに供えた風習が受け継がれたものとされています。また、地方によっては冬至にレンコンやミカン、ダイコンなど「ン」のつく食物を七種食べると運を呼ぶ、ゆず湯に入るとかぜをひかないなどの俗信があり、今に受け継がれています。

まちのわだい

藤栄ベンさん100歳に 特別敬老金贈る

曾孫の里友（みさと）ちゃん、苗友（ちさと）ちゃんといっしょのベンさん

北小林の藤栄ベンさんが、10月25日めでたく100歳の誕生日を迎え、町では当日藤栄さん宅を訪れ、特別敬老金100万円と花束を贈り、長寿を祝いました。

ベンさんは、明治34年生まれで、耳が遠いほかはとても健康で、顔の色つやもよく、食べ物も好き嫌いがなく、今でも身の回りのことは自分でしています。また毎日新聞にも目を通し、暖かい日には、庭の草むしりをするなどの元気なおばあちゃんです。

※この制度は、平成6年4月から実施しており、10年以上本町に暮らし、100歳を迎えたお年寄りに特別敬老金を贈っているもので、ベンさんは6人目となります。

今年も大好評！ 壬生町産業まつり

各商店で思考をこらし、イベントを盛り上げる

町の商・工・農業が一堂に集まった第19回総合産業まつりが11月3日、総合運動場南グラウンドで開かれました。

会場では、各商店、各メーカーの出店が数多く並んだほか、そばやうどん、焼きそばなどの模擬店も並び、また、たまごやマスのつかみ取り、サンマ・花苗の無料配布などの催しが行われました。

今年は、健康ふくしまつりと同日開催とあって、大勢の家族連れで賑わいました。また、壬生町共通商品券（10％プレミアム付）販売では長蛇の列ができ、関心の高さが伺えました。

身近な外国人と交流　食と文化のつどい

外国人も女性の興味はやはり生け花

町国際交流推進協議会（荒川誠一会長）による第2回「食と文化のつどい」が、町中央公民館で10月28日に開催され、外国人50人を含む約500人が参加し、お互いの異文化を楽しみました。

これは、町民と町内・近隣市町在住の外国人とが集まり、餅つきやそば打ち、生け花・折り紙を外国人に体験してもらうことにより、普段味わえない日本の文化に触れることを目的に開催されたものです。

会場には、おでんや赤飯、けんちん汁、おしるこ、きんぴらなどの日本食と、中国・ペルー・ブラジルなどの料理が並べられ、お互いに試食し、異文化を理解しながら楽しみました。さらにステージ上では、津軽三味線・八木節・剣詩舞道・お囃子・アンデス音楽などが披露され盛り上がりの中、交流の輪が広がりました。

1,200人が本町を訪れる とーぶ健康ハイキング

ふれあい交流館前で町をＰＲ

第175回とーぶ健康ハイキングが11月10日行われ、東京方面から約1,200人が本町を訪れ、町内の各施設等を見学しながらハイキングを楽しみました。

当日は、小雨の降る肌寒い天気でしたが、参加者達はおもちゃの町駅に到着後、壬生総合公園～牛塚・車塚古墳～壬生寺～城址公園～東雲公園のコースを元気よく歩きました。

なお、ゴール場所の東雲公園には、町の有志が「ふれあい広場」を設け、かんぴょうの無料配布をはじめイチゴの試食、軽食の販売等を行い、町をＰＲしました。

中学生に主導権の試み 至宝町南自治会でウォークラリー

私たちが先導します

ウォークラリーでわんぱく公園に向かいます

秋晴れの11月18日、至宝町南自治会では中学生を主体にしたウォークラリーを、約200人が参加して行いました。これは、「最近の中学生は自治会行事に関心がなく、お互いに挨拶しようにも、顔もわからない」という問題に答え、青少年育成懇談会時に「自治会は一つ」という提議をもうけ、今回、中学生が大人をリードしてウォークラリーを行うことにより、事業部門を任せ、励みにしてもらおうと始めたものです。

集まった中学生13人は右腕に黄色のハンカチを巻き、２ｍものタイトル横断幕を持ち、お年寄りや子供たちを誘導して、国谷駅前から壬生総合公園までの約１・８kmを30分かけて歩きました。

総合公園内では、中学生が考えたウルトラクイズなどで交流し、楽しい１日を過ごしました。

ペットボトルで抽選会 栄町商店会がエコフェア

抽選会には多くの人が挑戦しました

環境に配慮しながら、これからの商店街づくりを・・と、蘭学通り栄町商店会（青木和夫会長）では、今年初めての試みとして、「蘭学通りエコフェア」を11月11日、蘭学通りで開きました。

フェアは、各商店やボランティアの協力を得て実施したもので、この日のメインの持ち込んだペットボトルで町共通商品券がもらえる抽選会には、多くの人たちが挑戦していました。また、加盟店による割引セールや栄町公会堂では、松本内科医院の松本院長による健康講話が行われました。

なお、この日集められたペットボトルは約7,000本で、商店会では、これらを換金後、全額町社会福祉協議会へ寄付する予定になっています。

万一に備えて
町消防団通常点検

町消防団（中根幸男団長・団員203名）の通常点検が11月23日、町総合運動場で行われました。

町内外の消防関係者の来賓が見守る中、人員・服装点検、機械器具点検、ポンプ操法並びに放水点検などが、団長の指揮のもと迅速に行われました。

また、永年勤続者や退団者、防火貯水槽土地提供者や消火協力者など表彰が行われ、最後に蘭学通りに場所を移して分列行進を行い点検を終了しました。

表　彰（敬称略）

栃木県消防協会長表彰

◎功績章　第3副分団長清野（せいの）信夫

◎勤続章15年

第3副分団長清野信夫

◎勤続章10年

第1分団第2部班長　葭葉光男
第1分団第2部団員　粕尾邦彦
第1分団第3部班長　荒川千裕（ちひろ）

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

◎功績章　第2副分団長荒川安男

◎勤続章5年

第1分団第1部団員　鯉沼義則
〃　第2部団員　粕尾　実
〃　第3部団員　山口　譲（ゆずる）
〃　第4部班長　田上（たがみ）佳彦
〃　第4部団員海老沼美智雄
〃　第4部団員　橋本康宏
第2分団第3部部長　赤羽根信也
〃　第3部班長　篠原一郎
第3分団第1部班長　野沢忠則
〃　第2部部長　広沢真一
〃　第2部団員　大関　裕（ゆたか）
〃　第3部部長　斉藤文男
〃　第3部班長　斉藤真二
〃　第3部団員　臼井一也（かずや）
〃　第4部班長　上田一雄
〃　第4部団員　鈴木淳志
〃　第5部団員　渡辺政人

石橋地区消防団連絡協議会長表彰

◎優良部　第1分団第3部
第2分団第1部

壬生町長表彰

◎功績章　第3副分団長清野信夫
第2副分団長荒川安男

◎勤続章15年

第3副分団長清野信夫

◎勤続章10年

第1分団第2部班長　葭葉光男
第1分団第2部団員　粕尾邦彦
第1分団第3部班長　荒川千裕

◎勤続章5年

（栃木県消防協会下都賀支部長表彰と同じ）

◎優良部及び努力賞の部

〈優良部〉

＊消防ポンプ自動車の部
第2分団第1部
第3分団第1部
＊小型動力ポンプ積載車の部
第1分団第3部

服装点検を受ける団員

南犬飼中の齊藤さん
ごみ散乱防止ポスターで最優秀賞

南犬飼中　2年
齊藤　秋さん

ごみの散乱防止と再資源化を進めるためのポスター・標語のコンテストがこのほど行われ、南犬飼中学校2年の齊藤　秋さんのポスターが中学校の部で最優秀賞に輝きました。

ポスター1，978点、標語2，049点と多数の応募があり、これらのなかから選ばれたものです。

齊藤さんは「おばさんが農業をやっているので、構想が浮かんだ。背景がむずかしかった」と話していました。

また、佳作には、小学校低学年の部で、安塚小学校2年、井上秋穂さん、小学校高学年の部で、壬生小学校6年、鯉沼悟史さんが入賞しました。

平成13年度
国民健康保険功労者
石川昭三さんが
表彰を受ける

表彰を受けた石川昭三さん（左）

分列行進

第2分団第5部

〈努力部〉
＊消防ポンプ自動車の部
第2分団第3部
＊小型動力ポンプ積載車の部
第2分団第4部

感謝状

◎永年勤続消防団員夫人
第1分団第2部団員粕尾邦彦令夫人
粕尾恵美子
第1分団第3部班長荒川千裕令夫人
荒川美子

◎平成12年度退団者
小宮山寛国　他47名

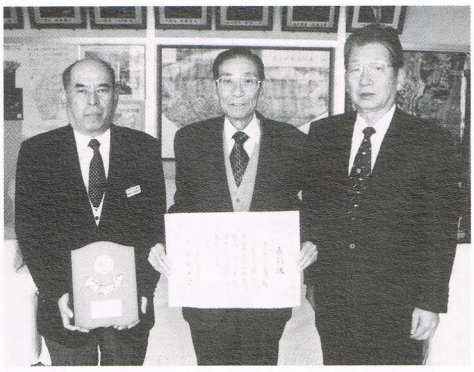
◎防火貯水槽土地提供者
福和田地区　高橋敏男
福和田地区　手塚利夫
下稲葉地区梁島昭太郎
国谷地区　高山江一

◎消防器具置場等土地協力者
藤井南部地区（1－4）毛塚昭吾
羽生田地区（2－3）　落合勝則

◎消防団行事協力者
陸上自衛隊音楽隊

◎消火協力者
壬生甲地内　㈱すが野
壬生甲地内　戸崎　明
藤井地区　寺内文雄
藤井地区　宇賀神英士
藤井地区　小此木　勉
藤井地区　小林雅宏
藤井地区　石原邦彦

優良連合会として表彰される
町老人クラブ連合会



喜びの高間会長（中央）と宇賀神事務局長（左）

第30回全国老人クラブ大会が、10月30・31日の二日間にわたり、愛媛県松山市の県民文化会館で開かれ、その席上、壬生町老人クラブ連合会（高間信義会長）が全国老人クラブ連合会から優良老人クラブ連合会として表彰されました。

同連合会は、昭和52年4月に結成され、クラブ数67、会員数3,263人を要し、ゲートボール大会、スポーツ大会、演芸大会を3本柱にした「心とからだの健康づくり」をはじめ、友愛訪問活動や「社会奉仕の日」の清掃活動にも多くの会員が積極的に参加しています。また、女性部の活動にも力を入れており、「地域に役立つ熟年者になるために」をモットーに研修会等で切磋琢磨し、活動を通して地域の活性化に努めており、これらの功績が認められました。

平成13年度国民健康保険功労者表彰式が11月12日、栃木県国民健康保険団体連合会で行われ、福和田の石川昭三さんに感謝状が贈られました。

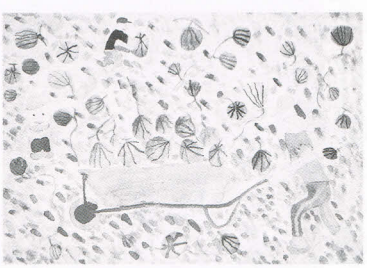
石川さんは、平成2年4月より壬生町国民健康保険運営協議会委員を務められ国民健康保険運営安定のため尽力されました。その功績が認められたものです。

農業・農村の児童画コンクール
壬生北小の2児童が入賞

壬生北小　2年
田村　淳（あつし）さん

「トマトのしゅうかく」

壬生北小　3年
大垣　成（じょう）さん



「すいか畑」

「私の描く農業・農村」をテーマとして、栃木県の将来を担っていく小学生に、農業・農村の様子を描いた夢と希望のある児童画を描いてもらい、児童はもとより、広く一般消費者にも農業・農村に対する理解と関心を深めてもらおうと、第10回ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクールが行われました。

多数の応募があったなか、厳正に審査をした結果、優良賞（ふるさととちぎ21活性化塾塾長賞）に、小学校低学年の部で壬生北小2年・田村　淳（あつし）君、小学校中学年の部で同じく壬生北小3年の大垣　成（じょう）君が入賞しました。

本町の益子 愛さん 健闘
全国障害者スポーツ大会で

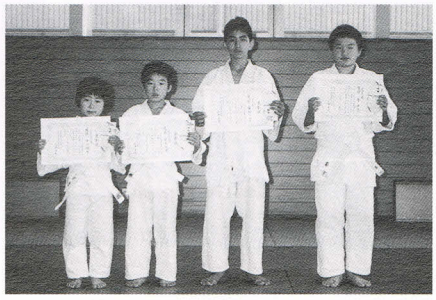
10月27日～29日まで宮城県利府町のグランディ・21宮城スタジアムで第1回全国障害者スポーツ大会が開かれ、本町から益子愛さん（睦作業所所属）が出場しました。

全国障害者スポーツ大会は、従来別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」を統合した国内最大の障害者スポーツの祭典で、益子さんは、栃木県選手団の一人として、陸上競技の800m走とソフトボール投に出場し、800m走が4分12秒34で5位、ソフトボール投では9m86で4位と、いずれも自己ベスト記録を更新し健闘しました。

町長室にて、出発のあいさつ

スポーツ

第4回小・中学生柔道大会
（11/18　町総合運動場武道館）



優勝した峯さん、奥村さん、鈴木さん
中川さん　（右から）

成　績（敬称略）

小学1年生・2年生の部
優　勝　中川翔太（安塚小）
準優勝　大類由妃（安塚小）

小学3年生・4年生の部
優　勝　鈴木大輝（稲葉小）
準優勝　早乙女巧（稲葉小）

小学5年生・6年生の部
優　勝　奥村ハンセン（安塚小）
準優勝　大類康史（安塚小）

中学生の部
優　勝　峯　卓也（壬生中）
準優勝　鈴木諒太（壬生中）

6競技で入賞果たす
栃木県民スポーツ大会

平成13年度栃木県民スポーツ大会が9/30、10/7の2日間にわたり県総合運動公園他の各会場で行われ、下都賀郡民体育祭を勝ち抜いた競技団体が壬生町代表として他町村の強豪と技を競いました。

その結果、6競技で入賞を果たしました。

優　勝　バスケットボール男子
準優勝　婦人バレーボール
第3位　ゲートボール
　　バドミントン
　　テニス
　　ソフトテニス

第17回壬生町バスケットボール大会
（11/11, 18　南犬飼中学校新体育館、町総合運動場体育館　男子の部14チーム、女子の部7チーム）

成　績

男子の部
優　勝　壬生体協（壬生）
準優勝　下都賀OB（栃木）
第3位　ZERO（藤原）
　　獨協医大バスケットボール部（壬生）

男子の部優勝　壬生体協チーム

女子の部
優　勝　AQUA（鹿沼）
準優勝　壬生クラブ（壬生）
第3位　益子クラブ（益子）
　　B・M・G・Girls（壬生）

女子の部優勝　AQUAチーム

健闘！　第11回下都賀地区
スポーツ・レクリエーション大会

10月28日（日）小山市において第11回下都賀地区スポーツ・レクリエーション大会が盛大に開催され、ニュースポーツ6種類に下都賀郡内から約1,100名が参加して交流を深めました。

〈本町関係入賞者〉（敬称略）
ラージボール卓球男子シングルスB
第3位　高木栄蔵
グラウンドゴルフ女子東ゾーン
第3位　小平テル
グラウンドゴルフ女子北ゾーン
第3位　生井和子

栃木税務署より

還付申告書作成説明会

◎説明を聞きながらご自分で申告書を作成し、その場で提出できます。
◎この説明会で申告した方の還付金は、おおむね40日で還付を行います。還付金の受取は、銀行等の口座振込をご利用下さい。

説明会会場	所在地	時間
小山市文化センター小ホール	小山市中央町1-1-1	9:30～，13:30～

年金のみの申告（還付申告）

●開催日　　1月30日（水）、1月31日（木）

当日必ず持参していただくもの
① 平成13年分の「年金の源泉徴収票」（コピー不可）
② 医療費控除をあわせて受ける方は、その関係書類
③「社会保険料の金額がわかる書類」、「生命保険料の支払（控除）証明書」及び「損害保険料の支払（控除）証明書」
④ 印鑑・ボールペン及び計算器具（電卓）
⑤ 申告者本人名義の通帳
＊ 年金以外の収入（給与等）のある方はご遠慮下さい。

医療費控除を受けられる方

●開催日　　2月1日（金）

当日必ず持参していただくもの
① 平成13年分の「給与所得の源泉徴収票」（コピー不可）
② 平成13年中に支払った「医療費の領収書」、交通費がある場合はその明細書（裏面の医療費控除の内訳書をあらかじめ記入しておいて下さい）
③ 高額医療費の補てん等がある場合は補てんされた金額のわかる書類
④ 印鑑・ボールペン及び計算器具（電卓）
⑤ 申告者本人名義の通帳

住宅借入金（取得）等特別控除を受けられる方

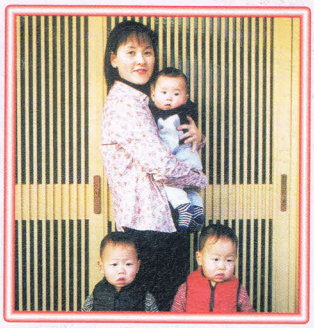
●開催日　　2月5日（火）、2月6日（水）

当日必ず持参していただくもの
① 平成13年分の「給与所得の源泉徴収票」（コピー不可）
②「住民票の写し」（H14，1，1以降交付のもの）
③ 家屋の「登記事項証明書」又は「登記簿の謄本」
④「売買契約書」の写し又は「請負契約書」の写し
⑤「住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書」
⑥ 増改築の場合は、「建築確認通知書」の写し、「検査済証」の写し又は建築士から交付を受けた「増改築等工事証明書」
⑦ 印鑑・ボールペン及び計算器具（電卓）
⑧ 申告者本人名義の通帳
＊ 家屋とともに購入した敷地の購入に係る住宅借入金（取得）等の控除を受ける場合は、敷地の「登記事項証明書」又は「登記簿の謄本」と「売買契約書」の写しなどが必要です。

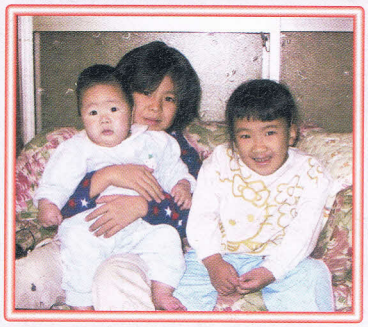
要件等詳しいお問い合わせは ･･･ 栃木税務署個人課税部門　☎22－1716

すこやかベビー・ご家族紹介

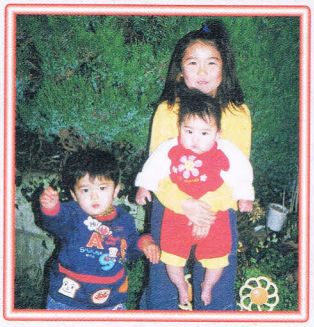
尾崎　朱凛（しゅり）ちゃんご兄弟（県営壬生住宅）



山口　紘忠（ひろただ）ちゃんご家族（安塚一）



毛塚　駿（しゅん）ちゃんご兄弟（落合）



茂木（もてぎ）　翼（つばさ）ちゃんご兄弟（安塚三）

町では、第3子以上の児童を養育している方に「すこやか子育て支援金」を交付しています。
※支援金の受給要件、申請方法等は、**町福祉課児童福祉係**（☎81―1831）へ

寄付

◆**社会福祉協議会へ**
ご寄付
（○数字は寄付回数）

ダンス木曜会様⑰　6千円
壬生町消費者友の会様⑭　5千円
㈱栄商事様②　6千792円
六美会様③　3万5千円
日光彫　壬彫会様⑪　1万円
㈱新優本店様⑤　1万円
壬生町盆栽クラブ様⑩　1万円
東武ガス㈱壬生営業所様⑦　3千210円

◆**健康ふくしまつり収益金より**
ご寄付

町民生委員協議会様⑪　1万9千18円
町ひまわり会様⑬　3千円
町シルバー人材センター刃物研ぎ一同様⑤　2千170円
町老人クラブ連合会様㉔　4万1千940円
町陶芸クラブ様⑫　1万円
町シルバー人材センター盆栽部様①　3千円
壬生地区配食サービスグループ様⑫　1万円

1月の納税等

●町県民税（4期）
●国民年金（1月分）
納期限　1月31日

まちのうごき
12月1日現在

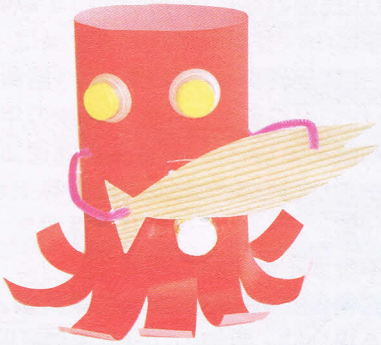
総人口	40,023人	（15）
男	19,567人	（△2）
女	20,456人	（17）
世帯数	13,052世帯	（25）

（　）内は前月比

私の作品

「見てね」

壬生北小2年
宮内　柚香（ゆか）



「たこ」

壬生北小1年
山ノ井　翔太